

新久喜

発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南-11-22
Tel.22-2365



新春の男体山と利根川の堤防強化事業

新春

新年のご挨拶

新しい年が明けました。選挙結果は自民、公明政権が復活したとはいえ、国民が期待を寄せた結果ではありません。消費税増税は中止を！原発はすぐ無くすべき！農業を破壊するTPPは反対！庶民の所得を増やし、景気回復を求める不況対策などの政治を変えてほしいという国民の模索は続いています。

今年の参議院選挙は、国民の立場に立った本物の改革とは何かをしっかりと示し、国民の皆さんとスクラムを組んで、



参議院埼玉選挙区予定候補
伊藤 岳



参議院議員
紙 智子



衆議院議員
塩川てつお

日本共産党躍進にむけ全力でがんばります。

消費税増税中止 原発即時ゼロ TPP反対

参院選躍進に向け頑張ります

ホットライン

選挙結果の深層

選挙結果は自民党の圧勝で終わりましたが、得票数を見ると小選挙区で有権者比24%、比例区ではたったの15%に過ぎません。国会には約80%の国民の声が届かないこととなります。この議席は小選挙区制と言う仕掛けによって得た「虚構の議席」なのです。

また、見逃せないのが巨大マスコミの報道姿勢です。「総選挙は民主・自民・日本維新の会など第3極による3つ巴」として、一方では「埋没恐れる少数政党」と報道。さらに政権はどの党かと「政権の枠組み論」を展開、公示後においても各党の議席獲得数など世論を誘導、平和、原発、消費税など国民の政治に託す願いから目をそらす役割を果たしました。

政権を取った安倍首相は「衣の下の鎧」を隠しきれず早速、過去の侵略戦争を美化する国家体制づくりに着手、増税、原発推進などに突進しています。

こうした中では、一貫して国民の命と暮らしを守る共産党の出番となるより他にありません。(Y)

2013年、激動の年が明けました。

昨年師走の総選挙で自民党の復活による安倍政権の新たな消費税増税と社会保障の一体「改悪」路線、原発の新設を含めた再稼働容認、憲法「改正」への布石などはまさに国民との対決軸となります。

また、新久喜市の合併後、市民の暮らしや福祉は後退するばかりです。住民サービスも低下し、

住民負担の軽減やサービス向上に 全力をつくします!

住民負担も増加しています。このままでは「久喜市に住んで良かった」との実感を住民は感じることができません。

- 日本共産党 久喜市議団
- 木村ともり
- 杉野 おさむ
- 石田としはる
- 渡辺 まさよ

正規雇用で 循環型地域経済の活性化を!

不況が長引き、リストラや派遣切りの状況はいまだに深刻です。

11月議会では雇用の促進と地域経済の活性化に向けて一般質問をしました。

昨年の暮れにも久喜工業団地で派遣切りにあい、再就職できず家賃の滞納で追い出され、正月を越

せないかと相談が持ち込まれました。幸い生活保護の受理ができましたが、正規雇用の安定と地元の中小零細業者の保護・育成のもとで地域循環型の活性化を図らない限り、将来への展望はのぞけません。市議 木村ともり